



2023 年 9 月


- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(2 ページ\)](#)
- [問題 \(2 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces

Cisco Spaces に次の機能が導入されました。

Cisco Meraki ネットワーク : ゾーンロケーションの作成のサポート

ロケーション階層 2.0 (ベータ版 UI) では、Cisco Meraki ネットワークの下にフロアロケーションのポリゴンゾーンを作成できるようになりました。フロアマップにポリゴンゾーンを作成するには、[Map] タブのフロアマップビューで使用できる **ポリゴンツール** () を使用します。作成された新しいポリゴンゾーンは、ロケーション階層とロケーション階層 2.0 の両方の下に表示されます。

詳細については、「[Create a Zone for a Floor Location](#)」を参照してください。

このリリース以前は、ポリゴンゾーンの作成は **Cisco CMX** ロケーションでのみサポートされていました。

Cisco Spaces : IoT Explorer アプリケーション

IoT Explorer アプリケーションでは、**アセットトラッキング**のユースケースで関連付けられたランダム MAC Wi-Fi デバイスを処理および表示するためのサポートが追加されました。

Cisco Spaces : コネクタ Services Manager

Cisco Spaces : コネクタ Services Manager に次の機能が導入されました。

- **高可用性** : Docker コンテナの CPU/メモリ使用率が高い場合のフェールオーバー最適化の処理に関する機能拡張。詳細については、「[高可用性](#)」を参照してください。

- テクニカルサポート : Cisco Spaces : コネクタ ローカル GUI からの障害対応用のログダウンロードオプション。
- コマンド : プロキシ証明書の検証用の新しいコマンドが導入されました。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces のこのリリースには拡張機能はありません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。このリリースには、解決済みの問題または未解決の問題はありません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。